



MISATO Town Assembly

美郷町議会だより

2025 **7** No.75

発行／宮崎県美郷町議会

編集／議会広報広聴特別委員会 広報部会

〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代1

TEL(0982)66-3607 FAX(0982)66-3137

■町政を問う!

～第2回定例会一般質問～2～5P

■第2回定例会

補正予算を可決6～7P

■美郷町議会基本条例の制定8P

■議会活動報告・議会全員協議会9～10P

■議会だよりモニター紹介

議員ひと言コーナー11P

■美郷町の元気づけと/編集後記12P

議会だよりはスマートフォンやパソコン、
タブレットからでもご覧になれます。



学園生活が楽しく過ごせることが
1番と考えて活動します!

うみの かつや
海野 勝弥 さん
(美郷南学園PTA会長)

子どもたちに
より良い環境を提供したい!

くわづ のりひろ
桑津 紀大 さん
(西郷義務教育学校PTA会長)



今年、PTA会長になりました。
子供達の為の活動を頑張ります!

さかもと こういち
坂本 浩一 さん
(美郷北義務教育学校PTA会長)



『町民と議員との意見交換会』を開催します。

* 概要については、
5ページをご覧ください。

町政を問う

一般質問

令和7年第2回定例会の一般質問は6月6日と9日に行われ、6名の議員が一般質問を行いました。主な質問と答弁の内容は次の通りです。

また、本会議でのやりとり(会議録)がホームページで閲覧でき、一般質問もすべて見ることができますので、ぜひご覧下さい。(議会終了後、会議録の調製等に3か月程度かかりますので、あらかじめご了承ください。)



高齢者福祉の充実について

早川 施政方針では、可能な限り住み慣れた地域で安心して生活を送る事ができるように努めていく。又高齢者の困り事や福祉ニーズに速やかに対応するとあるが、地域隅々の方々と連絡が取れ、通院・買物等の外出需要に対する対応が益々必要と思われるが考えを伺う。

町長 令和6年度に作成した第3期美郷町総合戦略の中で、「ちょこ乗りプロジェクト」を考えている。どういう形が一番良いか、コミュニティバスの利用等を含めた中で、移動手段を考えていきたい。



はやかわ せつお 議員
早川 節夫 議員

年間報酬の見直しを行い、活動意欲の向上に努める必要があると思うが考えを伺う。

町長 今後、自然災害等が起きた場合、消防団員の活躍が、町民の安全・安心の位置づけになる。報酬見直しはよく分かるが、財政事情を考慮しながら検討していく必要があるとは思っている。

消防活動環境の整備について

早川 消防施設の充実や団員の確保、活動環境の整備など、消防力の維持向上に取り組んでいく上で、自然水利の整備は大切な事と思うが考えを伺う。

町長 町内65カ所に自然水利がある。全てとはいかないが、特に大きな集落の所は河川水利を使う必要があると思う。水利までの道路は、いつでも行けるようにしておきたいと思う。

早川 団員が減少している中、活動の中心となっているのが、家庭を持っている団員で全体の7割と思われる。出動手当及び



▲自然水利(北郷地区)

議会を見にこんね！

どなたでも傍聴できます。

お気軽に議場へお越しください！

※体調不良の方は傍聴をご遠慮願います。また、手指の消毒をお願いしております。

第1回定例会
の傍聴者数
16人

第1回臨時会
の傍聴者数
0人

※臨時会是一般質問を行いません。

次回定例会は、
9月4日(木)
開会予定です。

家庭ゴミについて

- 山本** リサイクルするためには、しっかりとした分別が必要不可欠だ。分別が徹底されていないと考えるが。
- 町長** 分別は、しっかりされていると思う。
- 山本** 可燃ゴミは有償で焼却処分されている。1年間に要するゴミ処理の経費は1億2,000万円、町民1人当たり約2万3,000円になる。処理経費の削減のためには生ゴミの減量が重要だ。家庭用生ゴミ処理器の購入に際して補助する考えは。
- 町長** 区長会等で要望があれば検討していく。
- 山本** ゴミ等の持ち出しを自ら行うことが困難な世帯を対象に、ゴミ出し支援を行う考えは。
- 町長** 今後の課題だ。検討していく。
- 山本** リチウム電池を起因とする火災が続いているが、町の対応は。
- 町長** 町民への注意喚起は行っていない。リチウム電池の回収も行っていない。処分方法については、分別収集表に記載している。広域連合清掃センターと延岡清掃工場に子供達が見学に行っているようだが、その感想は。
- 山本** ①プラスチックのゴミの多さに驚いた。
②食べ物、着るものすべての無駄を無くすことが大事だと思った。
③限りある資源を大切にしたい。
- 教育長**



やまもと ふみお
山本 文男 議員

災害廃棄物について

- 山本** 令和4年浸水被害が発生した和田地区の災害廃棄物は、計画どおり処理されたのか。
- 町長** マニュアルどおり処理された。出された廃棄物の総重量は115トン、仮置き場は入郷ユニコン跡地を使わせてもらった。

北郷歯科診療所について

- 山本** 診療再開の見通しについての説明を求める。
- 町長** 再開に向けては、5月に日向歯科医師会の医師を含めて協議した。今後も再開に向けて取り組んで行く。



わかすぎ しんじ
若杉 伸児 議員

人口減少・少子化対策について

- 若杉** 平成18年に美郷町が誕生した時の人口が6,803人、令和7年4月1日時点で4,112人、10年後の2035年には3,245人との予測もある。それに伴い出生者数も平成18年が29人、令和6年は15人となっている。この現状をどの様に捉えているのかを伺う。
- 町長** 町が先細りしてしまうという点からも、少子化を非常に重く受け止めている。
- 若杉** 少子化対策の一環として未婚者への婚活について伺う。
- 町長** 平成25年より「美さこん」を実施して来た。様々な時代背景により、結婚への価値観も変化しつつある。県の取組み等も参考にしながら、結婚できる環境作りに力を入れたい。

カーブミラーの設置について

- 若杉** 町内の道路において、必要とされる所にカーブミラーが設置されている。その設置基準を伺う。
- 町長** 安全確認は運転者による目視が原則である。ただし見通しが悪く道路改良が困難な箇所については、財政状況を考慮し計画的に設置している。
- 若杉** 私道から公道(国道・県道・町道)への出入り口には設置出来ない、その様な基準があるのか伺う。
- 建設課長** 私有地の出入り口については、基本的に個人による設置と考える。ただし道路の状況などで危険が及ぶ箇所と判断すれば、現地を確認し協議したい。
- 若杉** 道路改良工事等により必要で無くなったカーブミラーを見かける。払い下げや移転による再設置ができないのかを伺う。
- 町長** 払い下げは考えていないが、再利用は検討したい。町道の危険箇所に使われていないものを移設するのが筋と考える。



▲私道と町道の三差路にあるカーブミラー

消防設備について

- 川村** 各地区には消火栓、防火水槽が整備されているが、いざ火災時に事足りない時がある。そのために河川自然水利が必要と考えられるが。
- 町長** 河川水利の必要性は認めている。65か所の水利への道の整備はしていくが、消火栓と防火水槽という部分でも対応させていきたい。
- 川村** 西郷峰地区の年の神側の田代川に自然水利を整備したらと思うが。
- 町長** 管理者の問題や御田祭会場にもなるので、観光面からも構造物を造るのは難しい。農業用水と抱き合わせた何か良い方法はないか、もう少し精査していきたい。
- 川村** 消防団合併により使用していない消防機庫が見受けられるが、町で解体する計画は考えていないか伺う。
- 町長** 消防部長や区長さん、地区の方が「いらない」ということであれば危険家屋になる前に撤去した方が良いと思う。令和5年度は1件撤去している。
- 川村** 無償で提供している土地の利用者が、機庫を解体するなら譲って欲しい場合、



かわむら よしゆき
川村 義幸 議員

解体予定の機庫は無償で譲ってもらえるか。

町長 町の財産なので、協議・検討していきたい。



▲現在使用していない消防機庫の奥には防火水槽がある。消防機庫を撤去すると消火がスムーズに行われる。



なかだ たけみつ
中田 武満 議員

支所(地域課)の機能強化について

- 中田** 人口減少、高齢化が進む中、今までより高い機能が要求される時でもあると思う。町民との連携、地域振興に寄与するためにも現体制を見直す必要はないか伺う。
- 町長** 社会情勢を鑑み現体制とした。現在見直し等の要望もないので継続としたい。
- 中田** 地域振興や課題解決を行うためにも支所独自の活動計画を策定し、予算を立てるなど、特色ある体制作りはできないか。
- 町長** 支所活動は町の総合計画に盛り込み、町

全体で取り組む体制としたい。

中田 支所機能を高めるための職員教育の状況について伺う。

町長 職場内教育にてスキルアップを図りたい。

小丸川堆積砂利の除去について

- 中田** 堆積した砂利は年次、部分除去されているが、未だ災害回避に至らず、魚影濃い清流には程遠い状況である。本年度の作業計画について伺う。
- 町長** 県へ随時、治水事業整備促進として要望を行っている。本年度は渇水時期を見ながら行われる予定である。
- 中田** 「土捨て場」の確保はどうするのか伺う。
- 町長** 盛土規制法により要件が難しいが、町民からの情報を基に確保に努めたい。



▲河川堆積砂利の除去状況

木炭原木対策について

中嶋 備長炭の原料となるアラカシが減ってきており、生産者は原木確保に苦慮されている。伐採後に雑木除伐をすることで原木の成長が早くなることから、雑木除伐の支援はできないか。

町長 アラカシ原木の除伐は、成長及び原木確保に一定の効果はあるのではないかと認識している。原木になるまでに、計画的かつ継続的な原木供給基地としての山づくりが必要と考える。製炭者も、切る山から育てる山への自助意識を高めることが重要であり、町としても町民に製炭業の文化的価値を理解していただくことで、日向備長炭の産地力強化に努めていきたい。

中嶋 原木対策をしなければ、生産技術も途絶えてしまうのではと危惧されるが、その対策は。

町長 町としては、町有林にアラカシを植栽している。生産者部会も、町の補助金を活用しながら植林をしていく考え方を持たれている。今やっておかなければ先に繋がらないことは明白であり支援していきたい。



なかしま ならお 議員
中嶋 奈良雄

中嶋 Iターン者は所有林もないことから、原木確保に大変苦勞されているようである。若い方達の考え方も取り入れながら、原木対策をしていく必要があると思うが、町長の考えは。

町長 担い手対策の一環として、地域おこし協力隊も製炭業に関わっていただいている。今後、保存会や森林組合等とも情報交換等しながら、Iターン者達にも原木供給していくことが大切かと思う。現在30名近くの生産者がおり、年齢も若返っていることから、これからどうやっていくか共に考えていきたい。

『町民と議員との意見交換会』を開催します。

この度、町民の方からの要望により町民の皆様と議会議員との意見交換会を企画いたしました。町民の皆様と直接お話する場を設けることで、ご意見やご要望を直接お聞きすることができます。

開催日時は、下記のとおりです。ぜひ、ご来場ください。

日時 令和7年10月29日(水) 19:00～

場所 西郷ニューホープセンター大集会室



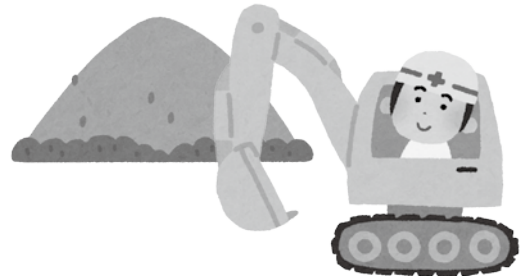
8月組合長文書(回覧)でもお知らせします。
【お問合せ先:議会事務局 電話66-3607】

令和7年第2回定例会は、6月4日から6月9日までの6日間開催され、補正予算をはじめ、工事請負契約等、計16件の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。

補正予算	条 例	工事請負	その他
3件	4件	6件	3件

道路整備機械購入事業補助金

地域住民が自発的に行う、地域内の町道・林道等の道路整備に必要な道路整備機械(タイヤショベル・バックホウ)の購入に対して補助金を交付します。



▲道路整備機械(タイヤショベル・バックホウ)

(補助金交付限度額)

1台の道路整備機械に対して3分の1以内
※上限額 100万円

Q

どこの集落が要望しているのか？
他の公民館から要望があれば答えるのか？

建設
課長

西郷中区の要望です。20年程前から地元で道路整備機械を購入して、地元の道路整備をしていました。他の地区でも、補助要件にあえば可能です。

コミュニティ助成事業補助金

3つの避難所で最低限度の避難生活を営むために整備するもの！

有事の際に3つの避難所(速日公民館・細宇納間公民館・秋元木炭の館)を管理運営する「秋盛区自主防災組織」が整備する設備に対して、コミュニティ助成事業の交付決定がありましたので、補正しました。

コミュニティ助成事業補助金

1,300,000円

○事業申請	秋盛地区自主防災組織
○事業総額	1,306,536円
○補助額	1,300,000円
○地区負担額	6,536円

●ポータブル電源	3台
●折畳式ソーラーパネル	3台
●雨天型コードリール	3個
●LED投光器	3台
●台座式LED投光器	3台
●スマホ対応手回しラジオライト	3個
●LEDランタン	12個
●LED防雨ライト	12個
●非常野外用トイレ	9個
●組立式ダンボールトイレ	9個
●扇風機	3台
●簡単設置ダンボールベット	9台
●シルバーキャンピングマットL	30枚

Q

とても良い防災グッズが選ばれているようです。これは各地域から要望があつて事業をしているのですか？

総務
課長

コミュニティ助成事業の募集受付は、区長会を通して毎年行っています。一般のコミュニティ助成事業と防災関係のコミュニティ助成事業もご案内しています。数年前から要望が大変多くなっています。採択されるのは年に1件程です。他にも3～4件要望があります。まだ、採択されていないのが現状です。これからも呼びかけを行っていきます。

※コミュニティ助成事業とは…

(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施しています。



※議案一覧・議決結果は、ホームページでご覧になれますが、QRコードでも簡単にご覧になれます。



議案一覧



議決結果

耳川土地利用一体型水防災事業

耳川土地利用一体型水防災事業で、住宅嵩上げにかかる住民のための仮設住宅建設を進めています。

現在2戸完成していますが、来年3月末までに新たに4戸建設します。

和田地区に計6戸の仮設住宅を整備します。

○仮設住宅2棟 設計費 1,500千円

○仮設住宅2棟 工事費 7,000千円

※現在の予算の差額分を追加



▲和田地区にある仮設住宅

水道施設整備事業 簡易給水施設及び飲料水供給施設

各地区に点在する簡易給水施設及び飲料水供給施設の改造・機能増強の助言を積極的に行い、安全な飲料水の確保を図ります。

施設整備に要する費用について、補助要綱に基づき、対象費の9割を助成します。

地区	組合別	戸数	事業費	補助額	地元負担金	概要
南郷	中渡川	5	149,600円	134,000円	15,600円	配水管整備
西郷	坂本	15	720,000円	648,000円	72,000円	濁り対策浄水設備整備
西郷	立石	11	985,000円	886,000円	99,000円	漏水調査・排水管整備
西郷	大久保	2	400,000円	360,000円	40,000円	取水口整備
補助額合計				2,028,000円		

農作業受託組織支援事業

サポート事業体である地域の農作業受託組織の作業が効率的になるように必要な機械等の導入を支援します。

○坂元ライスセンター【管理面積】173,462㎡

経年劣化による更新(耐用年数7年)

コンバイン1台

事業費 4,818,182円(税抜)

補助金 1,000,000円(上限)

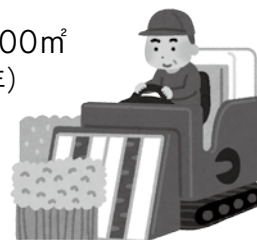
○きじの防除組合【管理面積】248,100㎡

経年劣化による更新(耐用年数3年)

ドローン用バッテリー1個

事業費 765,000円(税抜)

補助金 255,000円



※事業費(補助金) - 費用の1/3以内 ※上限1,000,000円

耳川広域森林組合 北郷加工センターの製材業が7月1日に再開

5月30日の議会全員協議会に於いて農林振興課から報告

耳川広域森林組合は、北郷加工センターの製材業について、令和6年12月末をもって撤退していましたが、令和7年7月1日から日向市内の業者によって製材業が再開されました。

○経緯について

- ・令和5年3月定例会 耳川広域森林組合に北郷平山木工団地の町の財産(土地)の無償貸付契約に関して議決する。無償貸付期間は、令和5年4月1日～令和8年3月31日まで。
- ・令和6年9月18日 議会全員協議会にて、耳川広域森林組合より北郷加工センターの製材業の閉鎖に向けた説明を受ける。
- ・令和6年12月末 北郷加工センターの製材業を閉鎖。
- ・令和7年5月30日 議会全員協議会にて、耳川広域森林組合が北郷加工センターの一部を7月1日より日向市の業者に貸付を行うことの説明を農林振興課から受ける。

○貸付先 株式会社グロースリング(日向市)

創業 昭和34年7月4日

業務内容 製材事業など

○貸付期間 令和7年7月1日～令和8年3月31日まで

○町が貸付ける財産

・北郷平山木工団地の土地

○森林組合が貸付ける財産

・製材工場(1,272㎡)、製品倉庫(1,040㎡・358㎡)

乾燥機・ボイラー(310㎡)・事務所(214㎡)

リングバーガー(520㎡)、チップヤード(206㎡)など

『美郷町議会基本条例』 が第2回定例会で制定されました。



1. 議会基本条例について

趣旨・目的 ○住みよいまちづくりを目指すため、町民の意思を最大限に行政に反映できる、開かれた議会。

○町政の情報公開と町民参加を基本とし、地域課題及び町民の意向を把握し、町の政策に結びつけ、美郷町の豊かな町づくりの実現。

議員の心得 ○一部の町民ではなく、町民全体の代表として、町全体を俯瞰する。
○町民を代表して、勉強や情報を得る機会が多くあることを意識する。
○議会や議員活動は、課題の掘り起こしと課題解決の手掛かりを得るようにする。
○議会活動は、すべてコストが掛かっていることを忘れない。

注目点!!

今までの一般質問

- ①通告書の質問の趣旨や内容を分かりやすく記載すること。
- ②質問に必要な現状や実績について、調査することができる。
- ③通告書に沿った質問に努めなければならない。

新たに追加された事

- 答弁書を一般質問を行う前日までに提出を求めることができる。
- 質問に必要な現状や実績について、事前に資料の提出を求めることができる。
- 町長等は、質問や質疑の趣旨や内容、背景、根拠が不明な場合に、議員に対して反問することができる。**(反問権)**
- 議長の許可を得て町長等が議員の質問に対して反対の意見を述べることができる。**(反論権)**



『反問権』と『反論権』の目的は？

町長等の執行機関から議員に質問できる権利です。

それにより「**町長(執行機関)と議会**」との議論が活発になり、公共の福祉のために、効果的、効率的な質問となる事が期待されます。

一般質問とは…

議会において、議員が町政全般に関して、町長などの執行機関に対して疑問点や意見を述べたり、説明を求めることです。※年4回ある定例会のみで行われます。

- 課題解決、町民の困っていること(問題)の解決を求める。
- 将来起こり得る課題に対して、事前に対策を講じるよう求める。
- 公共の福祉のために、しっかり取り組んでいるのか、執行機関を質す。
- 地域に潜んでいる課題を「見える化」して、気づきを与える。

これからは、以上の点にご注目ください。また、議会傍聴にもぜひお越しください。





「課題解決に向けて」議会要望活動 ー各中央省庁ー

6月24日に中央省庁へ出向き、要望活動を行いました。主な要望事項については、下記のとおりです。

国土交通省 ー地方への道路整備や防災減災に係る予算の確保ー



▲道路局 山本局長

- 道路財源の確保を図ること。
 - ・道路整備の遅れている地方への重点配分
- 西郷和田地区の浸水対策工事の事業促進を図ること。



▲治水課 笠井課長

- 国道388号の整備促進を図ること。
 - ・門川町庭谷から松瀬までの早期完了と美郷町北郷側への早期着手
 - ・南郷新屋敷工区の早期完成

農林水産省 ー農業担い手確保についてー



▲農産局技術普及課 長峰課長

1. 「新規就農者育成総合対策事業」については、農業担い手確保のため、必要な予算を確保すること。加えて、年齢要件の緩和を図ること。
2. 持続可能な農業構造の実現を図ること。
 - ・地域の多様な農業経営に対する支援策の構築
 - ・中山間地域のスマート農業の推進
3. 営農意欲を維持するため、燃油や各種農業生産資材の高騰に対する支援策を講じること。

環境省・農林水産省 ー鳥獣被害防止対策予算の確保についてー



▲鳥獣対策・農村環境課 仙波課長

1. 鳥獣被害防止及び捕獲活動支援等の鳥獣被害防止総合対策交付金予算を十分確保すること。
2. カワウの被害対策については、広域的な取組みへの支援と効果的な対策の確立を図るとともに、駆除を推進するための駆除報償金の設立、財政支援を行うこと。
3. サルは集団での被害が甚大であるため、地域の取組への支援と効果的なサル被害対策の確率を図ること。

各省庁の担当者15名の方に対応をしていただきました。それぞれの施策について説明があり、美郷町の現状を直接伝えることができました。



総務厚生常任委員会

「南郷地域課・北郷地域課の業務状況調査」

1. 日時 令和7年5月14日(水) 2. 場所 南郷支所・北郷支所

【考 察】

- ・住民アンケートでは、満足度が高い調査結果となっている。
- ・支所において、今の人員で、必要な手続きが適確に出来ていると思った。
- ・困りごとの相談を地域課を通じて、本所に伝えるため、その住民の気持ちが伝わりにくいと感じた。
- ・午後3時以降は、金融機関が閉まるため、地域課で多額の現金を管理することに不安を感じている。更なる口座振替を推進する必要がある。
- ・住民への案内文書や納付書は、支所で出来ない手続きも記載するなど、丁寧な説明が必要だと感じた。
- ・委員から地域活性化のため、地域課独自の施策に取り組む必要が有るとの意見が出たが、現状の人員では困難であると思われる。
- ・定期的な、本所との連携会議や両地域課との情報交換の場があると、更に良いと思った。



▲南郷地域課



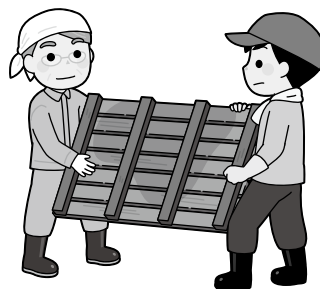
▲北郷地域課

「社会福祉協議会の災害対応調査」

1. 日時 令和7年5月14日(水) 2. 場所 美郷町役場委員会室

【考 察】

- ・過去に、ボランティアセンター立ち上げの運営実績がない。
- ・災害が発生しても、通常業務を優先する。また、災害時に、町外在住の職員が出勤出来ない可能性がある」と説明があった。
- ・計画どおりに、ボランティアセンターの立ち上げが出来るか不安面もあるように思えた。
- ・実際に運営するに当たっては、迅速かつ的確な立ち上げの準備、運営が求められる。
- ・マニュアルの作成が重要であり、誰が見ても準備から運営が出来る内容となっていることが必要であるので、マニュアルの作成状況や内容の再確認をする必要がある。
- ・町内のボランティア登録者を増やすことも必要であり、町と連携して、統一防災訓練や広報紙等で呼びかけを行ってほしい。



▲災害ボランティア



令和7年度 広報モニターさんを紹介します！

美郷町議会では、広報紙「議会だより」の企画・編集・議会に関する広報活動全般に対する町民の皆さまからのご意見やご要望をお聴きし、議会だよりの内容をより一層充実させるとともに、町民に開かれた議会を目指すために平成30年度より設置しております。

令和7年度の「議会広報モニター」に就任された方々を紹介します。



南郷 いまにし はつこ
今西 初子さん



西郷 はしぐち みほ
橋口 美帆さん



北郷 おだ こうじ
尾田 浩二さん

モニターさんからいただいたご意見

- 表紙の吹き出しの文字が、もう少し大きくても良いのかと思いました。
- 今年4月に南郷に遊具施設が設置されて子供達の遊ぶ元気な声が聞こえてきます。形になってあらわれる。とても分かりやすかったです。
- 町の課題に興味があり読みました。 ●議会活動のページ「対応者」の氏名を入れても良いのでは？

議員のひと言コーナー

五穀豊穡を願って

わかすぎ しんじ
若杉 伸児 議員



6月12日、南郷上渡川地区の水田にて御田植祭が催行されました。宮崎県神道青年会の主催による神田神事で、美郷南学園4年生や地元早乙女たちが田植えを行いました。

秋には懸税(かけちから)と呼ばれる稲穂1株を伊勢神宮へ、さらに精米が皇居や靖国神社へ奉納される予定。

昭和56年から開催され今年で45回目、旧3村時代も含めて美郷町で開催されるのは、初めての事です。

収穫期には、令和の米騒動が終息する事を願うばかりです。

うなま応援隊

はやかわ せつお
早川 節夫 議員



十数年前に宮崎市から単身で美郷町北郷に移住して「炭焼き」を始めた夫が、北郷でお世話になっているので、何か恩返しができないかとその奥様が中心となり、『うなま応援隊』を結成。

美郷町を、北郷を知ってもらおうと、県内外からチームを集め、ソフトバレーなどの大会を北郷で開催しています。

4月13日に第3回大会が開催され、24チーム・約100名の方が参加されました。

うなま応援隊、ありがとうございました。

国蝶 オオムラサキ

なかだ たけみつ
中田 武満 議員



大分県姫島には毎年5月からアサギマダラチョウが休息のため飛来する。村は一つの観光施設として位置づけ、訪島する観光客も多い。

先日、地元で国蝶「オオムラサキ」をケヤキの中で見かけた。雄は紫色が鮮明で美しく、近年個体を見かけるのは「稀」である。

兵庫丹波市では、食樹となるエノキを植栽し、公苑を設置して年間観察ができる。

美郷町の里山で国蝶が乱舞するとまた魅力が増すかなと思う。

第25回 美郷町の元気びと

『主人の想いを受け継いで』

南郷水清谷地区 甲斐 一子 さん



今回は、南郷水清谷地区の甲斐一子さん(78歳)にお話を伺いました。

中の越花公園を始めたきっかけは？

友達から睡蓮の花の苗があり、どこかに植えるところはないですかと話があったので、空き地を借りました。荒れていた空き地を主人が重機できれいに整地をして、ひょうたん池を作り、皆さんに睡蓮を植えてもらいました。

始めて何年になりますか？
平成25年頃だったと思いますので、今年で13年目になります。

手入れをする時は、どんなことが大変ですか？

公園が広いので、草取り、草切や池の水の管理が大変です。
協力してくれるスタッフも少なくなり、これから先どうなるか心配です。

花公園の手入れをして良かったことは？

花公園にきてくださるお客さんから「いつもきれいに管理されていますね」と言われたら頑張らなきゃと元気ができます。

健康(元氣)の秘訣は？

温泉とグランドゴルフです。皆さんと会って話すのが楽しみです。

今後の抱負やこれからの楽しみは？

年に一度でも皆さんが花公園を訪れて頂ければありがたいです。そして、花を見て心が癒されたらうれしいです。

健康第一で、花公園の管理やグランドゴルフを楽しみながら、身体

続く限り頑張っていけたらいいなと思っています。



▲水清谷地区「中の越花公園」5月の様子

今は亡きご主人の「憩いの場を作り人を喜ばせたい」「水清谷地域を活性化したい」との思いを受け継いで、今日も元気に、中の越花公園の手入れにいそしむ一子さんです。

(取材 兒玉 鋼士)

美郷町の 元気びと募集！

美郷町議会だよりでは、美郷町で活動している元気な人「元気びと」を募集しています。ぜひ、ご一報いただければ取材に伺います。自薦他薦は問いません。ご応募お待ちしております！！

議会事務局
TEL(0982)66-3607

編集後記

コメ価格の値上がりを受けて、備蓄米の販売が県内でも始まりました。安いコメを求めて、行列が出来ていたようです。

一方、農家にしてみれば、生産コストの高騰で厳しい経営の中、今回のコメの値上がりで、ようやく稲作で利益が出る水準になって来たという側面もあります。

この先、消費者も農家も納得できるコメの標準的な価格がどうなるのか、苗を植えながら考えを巡らせました。

山本 文男

(編集)

美郷町議会

広報広聴特別委員会

広報部会

部長……山本 文男

委員……若杉 伸児

早川 節夫

中田 武満

川村 義幸

オブザーバー 那須 富重

※この議会だよりは1部 39.4円でできています。